

環境経営レポート



エバオン株式会社



®環境省
エコアクション21
認証番号0001787

2023年度(第70期) (2023年6月～2024年5月)



作成: 2024年8月28日

ごあいさつ

私共は、地域住民の皆様との共生を育み、責任ある自律型組織に立脚した、
生命あふれる企業体としての日々の企業活動に創業以来邁進してまいりました。
さらにエコアクション21活動に取り組んでからは
従業員の環境意識が飛躍的に日々高まるのを感じております。

今後も、各ステークホルダーに位置する様々な立場の方々のご意見を

「環境活動レポート」に反映させ、より環境配慮に根差した

地球環境経営を標榜する責任ある企業を目指してゆく所存でございます。

以上を私共、エバオン株式会社の社会への宣言とさせていただきご挨拶に代えさせ
て頂きたいと思っております。

代表取締役社長 前西 衛

目次

経営理念・・・・・・・・・・・・・・・・	3
環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・	3
登録事業所の概要・・・・・・・・・・・・	4
環境経営システム組織図・・・・・・・・	5
役割・責任・権限表・・・・・・・・・・・・	6
環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・	6
主要な環境活動計画の内容, 評価, 次年度目標・・・	7～9
サイトごとの総括・・・・・・・・・・・・	10
各サイトごとの取組の実例・・・・・・・・	11
環境関連法規制の順守状況・・・・・・・・	12
代表者による全体の評価と見直し・指示・・・	12

【1】 経営理念

1. お客様第一主義で

会社の繁栄は、お客様の繁栄によってもたらされる。

お客様に感謝すること、お客様あつての会社であることを片時も忘れてはならない。

お客様の要求に充分に応えることこそ会社の責務であり、社会的責任を果たすことである。

2. 誇りの持てる魅力ある会社を

企業を人間成長の場と考え、人格の向上を目指してお互いに切磋琢磨することによって

より豊かな人間となる様に努力しことによってより豊かな人間となる様に努力し

自分の能力を充分に発揮し伸ばし、豊かで幸せな生活と明るい未来を築くことを目標とする。

3. 限りなき挑戦を行う

会社をより大きく発展させ続けることが、社会に貢献している事である。

今日より明日、今年より来年へとより大きなお客様の満足と働きがいの

ある会社の創造を目指し、限り無く挑戦し続けます。

【2】 環境経営方針

環境保全が経営の重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、
全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

エバオン株式会社は、その取扱商品である軸受・一般産業機器、環境・省エネ機器を通じて環境問題に
対して社会に貢献するとともに、その事業活動における環境負荷の低減のための活動に取り組みます。

1. 環境関連法規制及び当社が約束したことを順守します。

2. 環境負荷の低減を目指して以下について具体的な環境目標を定め、

実施計画を立て、継続的改善に努めます。

① 低炭素社会のためのエネルギーの効率的利用と資源の削減

・使用電力の消費量削減

・使用燃料の消費量削減

② 循環型社会のための省資源、廃棄物の削減

③ 使用水量の削減

④ 化学物質の適正管理

⑤ 環境・省エネに対応した取扱商品の販売促進

⑥ 社内システム化の推進による生産性向上

この環境方針はすべての従業員に周知させ環境意識向上を目指します。

制定 2006年11月 7日

改定 2019年 6月 1日

エバオン株式会社

代表取締役社長

前西

清

【3】登録事業所の概要

1. 事業者名及び代表者名

エバオン株式会社

代表取締役社長 前西 衛

2. 所在地

本社	〒542-0064 大阪市中央区上汐1丁目1番5号 TEL：06-6768-1005（代表）
東京営業所	〒111-0054 東京都台東区鳥越2丁目7番12号 OKビル3F TEL：03-3866-3636
掛川営業所	〒436-0074 静岡県掛川市葛川342番4号 TEL：0537-22-1393
東大阪営業所	〒578-0956 東大阪市横枕西6番29号・30号 TEL：072-960-3920
宇都宮営業所	〒320-0826 栃木県宇都宮市西原町430番10号 TEL：028-684-2053
浜松倉庫	〒435-0041 静岡県浜松市中央区北島町116番地
関西PDC	〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作3丁目12-5



3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 総務部 次長 : 高田 伸一 大阪本社 TEL : 06-6768-1170
担当者 総務部 : 萩山 詩鈴 大阪本社 TEL : 06-6768-1170

4. 事業内容

軸受及び付属品の販売

駆動関連部品・装置及び産業機械装置の販売

取扱品目

ベアリング、ブッシングブーリー、空圧機器、油圧機器、搬送機器、環境・省エネ機器、電磁機器

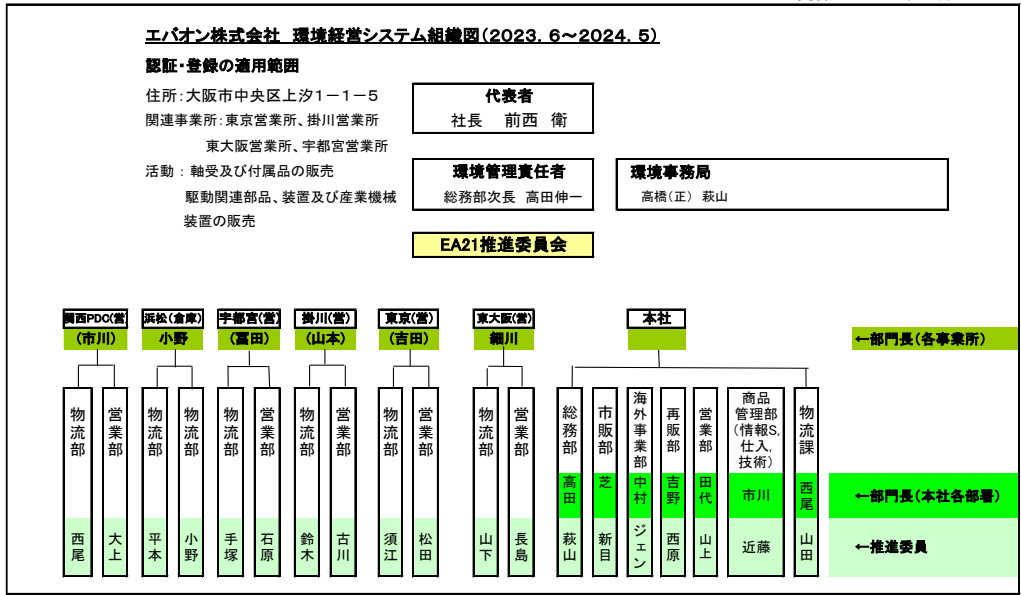


5. 事業規模

活動規模		2021年度 (2021.6-2022.5)	2022年度 (2022.6-2023.5)	2023年度 (2023.6-2024.5)
売上高 (百万円)		3,426	3,652	3,526
従業員 (人)	本社	55	56	54
	東京営業所	12	9	9
	掛川営業所	4	6	4
	宇都宮営業所	5	4	5
	東大阪営業所	18	16	17
	浜松倉庫	3	2	2
	関西PDC	0	0	2
総員		97	93	93
床面積 (㎡)	本社	1,848	1,848	1,848
	東京営業所	120	232	232
	掛川営業所	390	390	390
	宇都宮営業所	356	356	356
	東大阪営業所	1,069	1,069	1,069
	浜松倉庫	1,300	1,300	1,300
	関西PDC	-	-	3,908

様式 5-01

作成日 2006年10月23日
更新日 2024年 8月20日



エバオン株式会社 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
EA21推進委員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り自主的・積極的に環境活動へ参加 ・自部門の従業員と共に、率先・協調して取組を進める ・自部門の問題点の発見、是正、予防について部門長に提言する ・各部門長を補佐する
EA21推進委員会	・環境目標・環境活動実施計画書の原案の作成 ・環境関連情報の集積・全社への周知・実施方法の検討 ・月1回推進委員会開催（活動の四半期チェック）
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【4】環境目標とその実績

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	99,906	97,251	119,560
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	5,408	7,034	5,914
産業廃棄物排出量	kg	0	5,840	0
水使用量	m ³	728	793	1,161
※二酸化炭素排出係数	排出係数	0.418	0.418	0.491
	電力会社	関西電力	関西電力	U-POWER電力
	採用年度	2017年度	2017年度	2021年度

kg-CO₂/kWh

※ 二酸化炭素排出量には、都市ガス使用量を含む。
※ 一般廃棄物排出量には、再資源化の廃棄物を含む。

年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	44,445	38,750	75,109	×	37,614	38,705
	基準年度比	2022年	87.2%	169%		85%	87%
原単位	kWh/百万円	37.0	32.3	43	×	31.4	32.3
	基準年度比	2022年	101%	96%		96%	96%
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	46,226	46,698	44,410	○	44,445	44,273
	基準年度比	2022年	101%	96%		96%	96%
上記二酸化炭素排出量合計		90,670	85,447	119,519	×	82,058	82,978
一般廃棄物の削減	kg	2,534	2,682	2,624	○	2,485	2,469
	基準年度比	2022年	106%	104%		98%	97%
水道水の削減	m ³	793	814	1,161	×	717	722
	基準年度比	2022年	103%	146%		90%	91%
適正管理		化学物質管理はSDS評価を実施し適切に管理しています。					
営業支援システムの構築		2020年度より運用開始し、営業効率の向上を図ることが出来ています。					

【5】 主要な環境活動計画の内容・評価・次年度目標

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

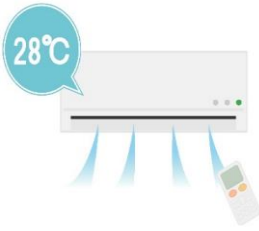
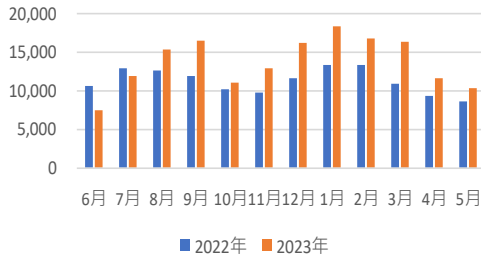
①電力による二酸化炭素の削減

	数値目標と実績(kWh)		評価	次年度目標
	目標	実績		
全社	117,950	152,972	◎	101,463
本社	46,508	45,023	◎	49,830
東京営業所	11,946	12,071	×	11,200
掛川営業所	11,851	12,647	×	12093.3
東大阪営業所	25,583	23,954	◎	21133.7
宇都宮営業所	9,537	7,901	◎	9537
浜松センター	12,524	11,803	◎	12524
関西PDC	-	39,573	-	38000

取組内容	活動
空調温度の適正化（冷房 28℃ 暖房 20℃）	◎
昼休み、不要時の消灯（誰も居ないフロア・エリア）	◎
ブラインドなどの利用、熱の出入りを調節	△



全社電気使用量



全社電気使用量

2022年度（基準年） 135,284 kWh
2023年度 164,755 kWh

◆取組評価

今年度より、本社は全館LED照明へ更新したため
本社の使用量は1.5倍近く減っています。
しかし、今年度より新たに2拠点の倉庫を事業所登録を行ったため
全体としては電気使用量が増加しています。

◆次年度目標

来期は、更に使用量を減らす事が出来るように
節電を全社が心掛けるようにします。

②総排水量の削減



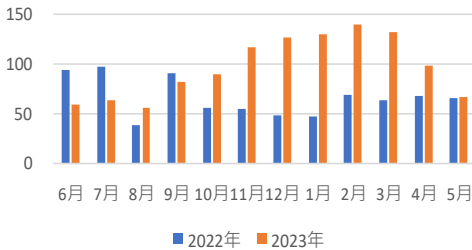
	数値目標と実績 (L)		評価	次年度目標
	目標	実績		
全社	814	1,161	×	717
本社	300	268	◎	277
東京営業所	81	72	◎	76
掛川営業所	52	20	◎	53
東大阪営業所	339	315	◎	271
宇都宮営業所	42	40	◎	40
浜松センター	15	10	◎	15
関西PDC	-	436	-	240

取組内容	活動
節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎
日常の節水励行	◎
水道水の締め忘れ防止の徹底	◎
節水への取り組み意識の徹底	◎

全社水道水使用量

2022年度（基準年） 793 m³
2023年度 1,161 m³

水道



6 安全な水とトイレを世界中に



◆取組評価

今期より拠点追加を行った関西PDCの水道メータに不具合が生じた為
きちんとした計測が出来ていないですが各拠点節水意識したため
目標値をクリアしています。

◆次年度

グラフを見ると全体的に使用量が上がっているように
見えますが各拠点別で確認すると去年より使用量は減少しているので
次年度も現状維持のまま節水を心掛けたいと思います。

③自動車燃料による二酸化炭素の削減



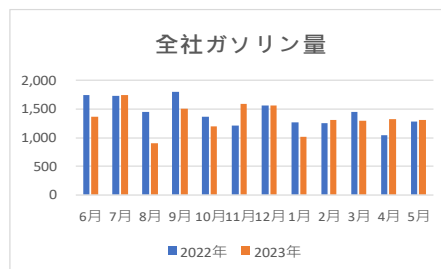
●ガソリン

	数値目標と実績 (kg-CO2)		評価	次年度目標
	目標	実績		
全社	17,329	16,128	◎	16,296
本社	7,394	6,675	◎	6,887
東京営業所	2,898	1,787	◎	2,926
掛川営業所	1,686	1,366	◎	1,463
東大阪営業所	3,649	4,402	×	3,483
宇都宮営業所	1,576	1,170	◎	1,367
浜松センター	143	667	×	501
関西PDC	-	62	-	50

●軽油

	数値目標と実績 (kg-CO2)		評価	次年度目標
	目標	実績		
全社	2,738	2,711	◎	996.7
本社	98	96	◎	113
東京営業所	0	0	-	0
掛川営業所	0	0	-	0
東大阪営業所	1,493	1,357	◎	591
宇都宮営業所	715	1,057	×	495
浜松センター	0	0	-	0
関西PDC	-	200	-	190

取組内容	活動
アイドリングストップ	◎
効率的なルートで配送	◎
定期点検（タイヤは最適な空気圧に）	△
ドライブレコーダーの活用によるエコ運転推進	◎
エリア別営業活動の見直し	◎



全社ガソリン使用量

2022年度（基準年） 17,154 L
2023年度 16,128 L

軽油使用量

2022年度（基準年） 2,492 L
2023年度 2,711 L

◆取組評価

今年の夏以降、ガソリン使用量が増加している原因として
本社/東大阪に関しては、関西PDCへの移設と商品の移動量により
増加したと考えられます。

◆次年度

次年度より本社ではEV車を導入するので
引き続きエコ運転の推進に努めていきます。

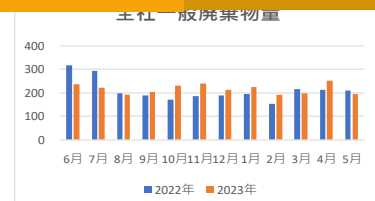
④一般廃棄物排出量の削減

	数値目標と実績 (kg-CO2)		評価	次年度目標
	目標	実績		
全社	2,682	2,624	◎	2,485
本社	1,099	1,109	◎	1,099
東京営業所	491	490	◎	491
掛川営業所	190	161	◎	194
東大阪営業所	380	735	×	190
宇都宮営業所	523	75	×	512
浜松センター	0	48	-	48
関西PDC	0	5	-	140

取組内容	活動
分別の徹底	◎
梱包材の再利用	◎
データベースなどの利用による文書の電子化への取組	◎
帳票見直しによる印刷物の削減	◎
裏紙の使用、両面印刷	◎

全社一般廃棄物排出量

2022年度（基準年） 2,534 Kg
2023年度 2,604 Kg



◆取組評価

関西PDC・浜松の拠点追加により排出量は増加しています。
関西PDCは年度途中からのデータの為、次年度は増加が見込まれます。
従来からの拠点は本社・東京・掛川概ね前年と同水準ですが、東大阪は物流量の
増加に伴い排出量も増えました。

◆次年度

次年度、本社リフォームに伴い排出量の増加が考えられますが
他拠点では排出量の削減に努めます。

【弊社の取組】

①環境・省エネ商品の選択

弊社では、グリーン購入促進/燃費の良い自動車を採用しています。
 今期も、本社ハイブリッド車を2台
 東大阪1台/掛川1台導入致しました！！
 去年より来客用飲料をラベルレス対応や事務用品
 消耗品をグリーン対象商品の購入等を行っています。

②本社LEDの導入

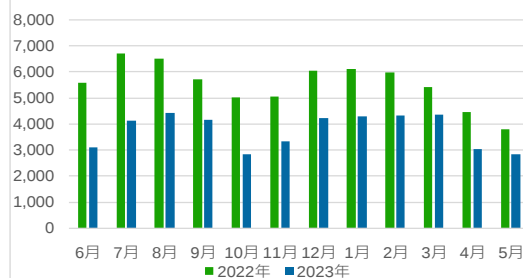
今期より、本社のみですが全館LED照明へ更新しました(^_^)/
 右側のグラフは本社の前期と今期を比較した
 電気使用量のグラフになります。
 前期に比べて、電機使用量がかなり削減できています！！

③支援協力

弊社では、地域こども支援ネットワーク事業へ
 支援協力を行っています☆
 引き続きご協力させていただきます。



本社 電気使用量



2024年5月23日 (木)

エバオン株式会社からお菓子を提供いただきました



<提供企業>
 エバオン株式会社
 <物資提供の内容>
 ・お菓子 6箱、1袋

2024年8月1日 (木)

エバオン株式会社から食品・飲料を提供いただきました



<提供企業>
 エバオン株式会社
 <物資提供の内容>
 ・食品 8箱
 ・飲料 2箱

【6】サイトごとの総括(今期の総括・来期の目標および取組)

◆ 本社

昨期末に導入したLED照明の効果がはっきりと数値に表れており、大幅な電力消費量の削減となっています。LED照明による削減効果によりわかっていく空調による電力消費量にも来期は改めて注意していきたいと思います。自動車燃料については、順次ハイブリッド車もしくはEV車への置き換えを推進することで環境負荷低減を目指します。来期は社屋のリニューアル工事を予定しており、本社2階の事務所スペース及び会議室スペースの大幅改修を行います。この改修により事務所内の収納スペースが従来より減少します。これまで収納スペースがあったために不必要な書類やカタログをたくさん溜め込んでいましたが、今後は電子化を進め廃棄物の削減へも努めていきます。

◆ 東京

今期は項目別では未達成・ギリギリ達成があり、次年度に向け課題は残りつつ、およそ目標達成に至る結果になりました。まず、二酸化炭素排出量削減(排ガス・電力)は項目別でガソリンは車両稼働・使用頻度減少により目標値を大幅に達成し、電力は目標に一步及ばない結果になるも、合算した総排出量は目標値の94%削減に対し、今年度合算累計74%削減に至りました。尚、基準年が凡そ6:4(排ガス:電力)の割合となり、Co2の削減の観点では排ガス削減に重心が向かいます。今年度は排ガス削減が大きく、45:55で電力に重心が傾きました。以上の事柄を踏まえて、次年度以降、二酸化炭素「総」排出量削減にも注視しつつ、排ガス削減の目標値を見直し実情に合う設定値に改めます。他、各項目別では一般廃棄物の削減が辛うじて達成、水道水は大幅に達成など、同じ「達成」とはいえ取り組みの結果に大きく差異がありました。全体を通して、次年度以降はそれも踏まえて削減余地を探り、目標値をただ単に達成するかどうかだけでなく、どの程度の「達成」かも、内容もしっかり重視し反映して、それぞれの取り組みの成果を出していけるよう引き続き努めていきます。

◆ 掛川

環境経営の実績から概ね各項目は通年で各項目の省エネ・削減に努めることができました。但し、電力については課題が残るところとなります。電力については日々の節電意識を行なうことは大切となりますが、大きな影響は空調機の使用によるところとなります。こちらに関しては会社にて既定を設けているものの、昨今の気候は寒暖差が激しく夏季の気温は異常レベルとなっており且つ猛暑の期間が長期化しておりやむを得ないものとも捉えられます。来期においても意識的に対応できるものを引き続き取り組むことが大切であると考えます。

◆ 東大阪

1年間を通して概ね全体的に目標達成をすることができました。倉庫移設により自動車の排ガスと一般廃棄物の量が増えた月もございました。水道の消費量に関しては、引き続き一人一人が意識を持ち、節水に努めて参ります。電力につきましてはエアコンの温度調整やこまめな消灯に努めていき、今まで以上に貢献できるように努めてまいります。

◆ 宇都宮

70期は各項目ごとの省エネ・削減は前期と比較すると、全体的に良い内容となりましたが、水道水の削減の項目については人員増加の影響もありますが、節水意識を高く持たなければいけないと思われます。電力については、事務所エアコンが2機ありますがなるべく片方だけの使用に抑えた事が良い結果になったと思われるので、引き続き節電意識を高く持っています。環省の項目は特に厳しい結果となりました。来期は新規顧客獲得が課題となります。

◆ 浜松

各項目の省エネ、削減は全体的に概ね目標を達成することができました。水道水の削減については引き続き節水を心掛けます。電力につきましてはエアコンの使用が大きく影響を受けますので、適正な温度の管理を意識して節電に努めます。

◆ 関西PDC

今期は排出量を把握する年度となります。
・この拠点は空調の設置台数が多いので、夏・冬には過剰に稼働させてしまわないように注意が必要です。
・今期の廃棄物は常駐人数が少なかったため少量でしたが、本格稼働後にはやや増加する見込みです。
・この拠点では現状は車両の使用頻度は低いですが、今後の配送方法によっては稼働が増えるかも知れません。
・今期は漏水などが有り、不正確なデータが計測されましたが、生活用水のみの使用ですので、3m程度で推移すると思われます。
来期の本格稼働後は、広い面積の社屋ですので無駄が発生しないように運営に努めて参ります。

・各サイトごとの取組の実例

【宇都宮営業所】

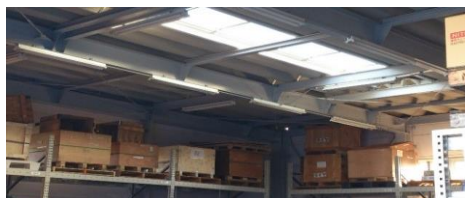
◆電力削減

①倉庫内照明の間引き



◆水道水削減

①トイレタンクに水入りペットボトルを設置



★低燃費車導入実績(現在稼働中)

【東京営業所】

ミライース（１台） 低燃費車



燃費 33.4 km/L (カタログ値)

【本社】

アルトエコ（１台） 低燃費車



燃費 37.0 km/L (カタログ値)

プロボックス（３台）ハイブリッド車



燃費 27.8 km/L (カタログ値)

【関西PDC】

ミライース（１台） 低燃費車



燃費 33.4 km/L (カタログ値)

【7】 環境関連法規制の順守状況

関連する主な環境法規制は次の通りである。

法規制の名称	該当する設備・項目	該当事業所
廃棄物処理法	一般廃棄物	全事業所
自動車NOx・PM法	自動車（ディーゼル車）	本社・宇都宮
消防法	防火設備の定期点検	全事業所
自動車リサイクル法	自動車	
小型家電リサイクル法	パソコン、その他電気・電子機器	
家電リサイクル法	TV、冷蔵庫、エアコン、洗濯機	
フロン排出抑制法	業務用エアコン	
顧客要求事項	指定化学物質の管理 （非使用、基準遵守等） 環境マネジメントシステムの運用	掛川・宇都宮

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

【8】 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨期末に本社の社屋全体の照明をLED照明に置き換えました。今期はその効果が明確に数値に表れる結果となりました。また、今期から新たに2つの物流拠点を対象に加えました。これらの物流拠点で運用することになる新しい物流在庫システムについては、今期中の本格稼働には至らず来期へ繰越す事となりましたが、本格稼働した後には商品出荷の迅速化と物流業務の大幅な効率化を図る事でお客様への商品供給の品質向上を目指します。

来期は本社のリフォームを控えており、電子化・ペーパーレス化の促進はもとより社員同士のコミュニケーションスペースを多く確保することで、今までよりも効率的に業務が出来る環境を整備する予定です。
環境負荷への対応としては、昨季以降更新を迎える車両を出来る限りハイブリッド車もしくは電気自動車とすることにしています。

見直し事項

- 【環境経営方針】
見直しはありません。(2019.6改訂版)
- 【環境経営目標・計画】
LED照明導入による現況と目標値の乖離や対象サイトの追加がありましたので、基準年数値の見直しが必要です。
- 【実施体制】
変更の必要はありません。

2024年6月28日